

EPSON

ELPMB30

取扱説明書

目次

同梱品一覧	3
安全にお使いいただくために	4
プロジェクター取り付け位置のご注意	5
取り付け方	6
天井取付金具 A 、天井取付金具 B を天井に取り付ける	6
天井取付金具 C を天井取付金具 B に取り付ける	8
プロジェクター取付金具をプロジェクターに取り付ける	10
プロジェクター取付金具を天井取付金具 C に取り付ける	11
投写映像の位置を調整する	13
投写映像を上下に移動する	14
投写映像を左右に移動する	16
投写映像の左右の傾きを調整する	17
取付金具カバーを取り付ける	18
お問い合わせ先	19
仕様	19

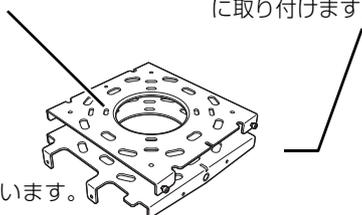
薄型天吊金具 ELPMB30

同梱品一覧

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

天井取付金具A

天井取付金具Bの上に重ねて天井に取り付けます。



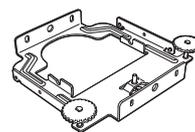
梱包時は仮組みされています。
(●p.6)

天井取付金具B

天井取付金具Aの下に重ねて天井に取り付けます。

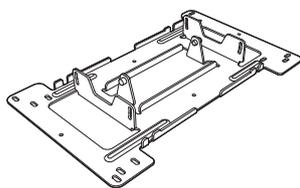
天井取付金具C

天井取付金具Bに取り付けます。
プロジェクターの上下左右の角度を調整します。



プロジェクター取付金具

プロジェクターに取り付けます。

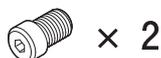


取付金具カバー

取り付けした金具類を目隠しします。



M8×10 mmネジ



M4×10 mmネジ (ワッシャー付き)



M4 x 12 mmネジ
(ナベ、ワッシャー付き)



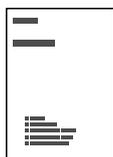
M4×10 mmネジ (ワッシャーなし)



ボールポイントレンチ



取扱説明書 (本書)



金具を天井に取り付けるのに必要なアンカーボルト、ナット等は市販品をお求めください。(●p.6)

安全にお使いいただくために

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を安全に正しく組み立て、設置していただくために、本書をよくお読みください。注意事項は必ず守ってください。不明な点はいつでも解決できるように、この説明書はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

本書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を取り付ける際は、事前にプロジェクターに同梱の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』に記載されている注意事項をよくご覧になり、適切な場所に設置してください。

警告

- 天吊り設置工事の十分な技術、技能を有する専門業者以外は施工しないでください。
また、設置の際は必ず本書の手順にそって作業してください。
不完全な組み立てや工事の不備は落下による事故やけがの原因となります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。天吊り金具は、プロジェクターの取扱説明書で指定されている天吊り固定部すべてを使用して確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。
- 設置作業は2人以上で行ってください。また、しっかりした足場で作業してください。
倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。
- 本製品は約 3.5 kg の重さがあります。輸送時、運搬時は十分に注意してください。
- 強度が不足している場所、傾いた場所には取り付けしないでください。
取り付け場所はプロジェクターと本製品を支えるに十分な強度が必要です。取り付けの前にプロジェクターと本製品の質量を確認し、許容加重計算等を行い、確実に取り付けてください。
強度不足の場合は十分に補強してください。
- 振動や衝撃が伝わる不安定な場所に設置しないでください。
本製品が落下しけがや事故の原因となります。
- 次のような場所に本製品を設置しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 屋外や風呂・シャワー室など水や雨のかかる恐れのある場所、湿度の高い場所
 - ・ 湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど油煙・湯気の当たるような場所
- 設置に際しては以下のことを守ってください。正しく作業を行わないと落下による事故やけがの原因となります。
 - ・ 取り付け場所の構造、材質を十分に確認し、最適な工法で工事を行ってください。
 - ・ 本製品には指定のプロジェクター以外のものをぶら下げたり、載せたりしないでください。本製品に取り付け可能なプロジェクターは、カタログ等で確認できます。
 - ・ 設置中や設置後は、無理な力をかけたりぶら下がったりしないでください。
 - ・ ネジは確実に締めてください。また、本製品の取り付け中や取り外し時に不用意にネジを緩めたり取り外さないでください。
 - ・ 本書で指示している場合を除き、本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。
- 設置中にネジや調整ダイヤルを緩めるときは本製品が落下しないように注意してください。
調整後はすべてのネジや調整ダイヤルを完全に締めてください。
本製品が落下しけがや事故の原因となります。
- 取付設置後は、決してボルト・ネジ・ナットを緩めないでください。また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一緩みがあるときは、確実に締め直してください。
本製品が落下しけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジ緩み止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や本製品の調整に際しては、ネジ緩み止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- プロジェクターを設置する際は電源を切って作業してください。また、濡れた手でケーブルの抜き差しをしないでください。
火災・感電の原因となります。

警告

- 設置する際にプロジェクターの電源コードを強く引っ張ったり、挟み込んだり、無理に曲げたりしないでください。また、電源コードの加工や、破損したコードの使用は絶対におやめください。
火災・感電の原因となります。
電源ケーブルが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。
- お手入れの際はプロジェクターの電源を抜いてください。また、濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。
お手入れの際は硬く絞った布を使用してください。
- 次のようなときは、本製品を使用せずにお買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。
 - ・ 設置前や設置時に本製品を落としたり、破損した。
 - ・ 金具に異常や不具合がある。

注意

お使いのプロジェクターの使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。
故障の原因となります。

プロジェクター取り付け位置のご注意

天井取付金具を取り付ける際は、事前にプロジェクターに同梱の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』に記載されている注意事項をご覧になり適切な場所に設置してください。特に、次の事項にご留意ください。

- プロジェクターのリモコン受光部に蛍光灯や直射日光の強い光が当たる場所を避けて設置してください。強い光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正しくできないことがあります。
- エアコンなどの吹き出し口から離してください。
- 外部ノイズの影響を少なくするために、コンピューターなどの接続機器と接続するケーブルは 20m 以下になるようにプロジェクターを配置することをお勧めします。
- 掃除や消耗品の交換など、プロジェクターのメンテナンス作業に十分なスペースを確保して、取り付け位置を決めてください。

取り付け方

天井取付金具A、天井取付金具Bを天井に取り付ける

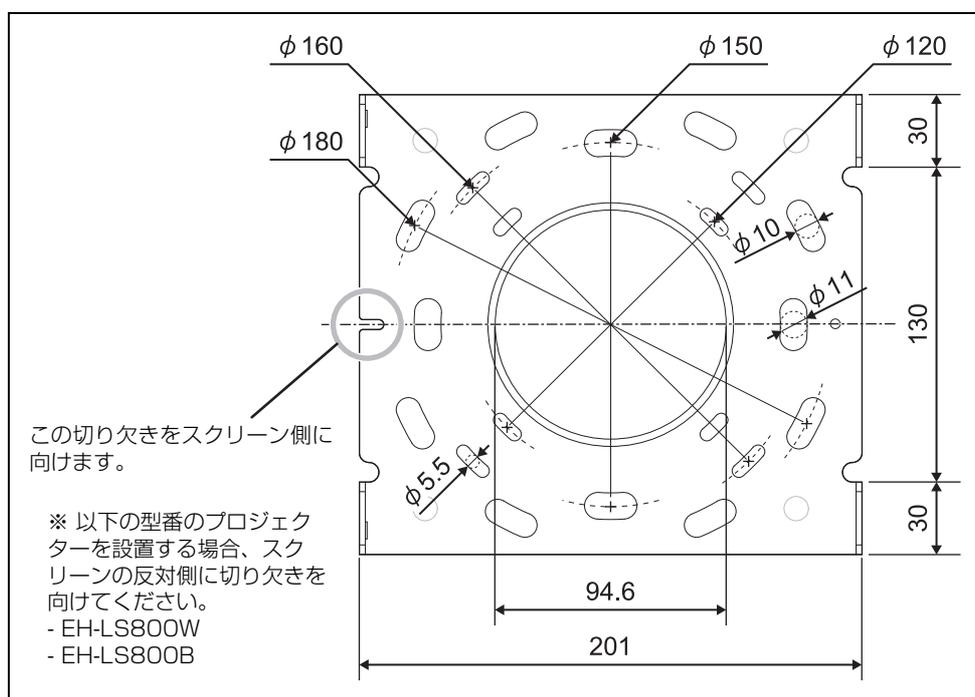
事前にスクリーンまでの投写距離を決め、天井取付金具の取り付け位置を決めて天井に取り付けます。天井取付金具Aのサイズ、ネジ穴の位置、サイズは下図の「天井設置面寸法図」で確認してください。

スクリーンまでの投写距離は、設置するプロジェクターにより異なります。詳細はプロジェクターまたはレンズユニットに添付の『取扱説明書』でご確認ください。

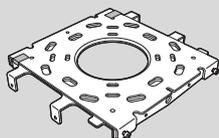
注意

プロジェクターの仕様により、レンズの中心がプロジェクター本体の中央と異なるものがあります。取り付け位置には十分ご注意ください。詳細はプロジェクターに添付の『取扱説明書』でご確認ください。

天井設置面寸法図 (単位: mm)



この作業に必要なもの



その他、市販のアンカーボルトや工具等をご用意ください。

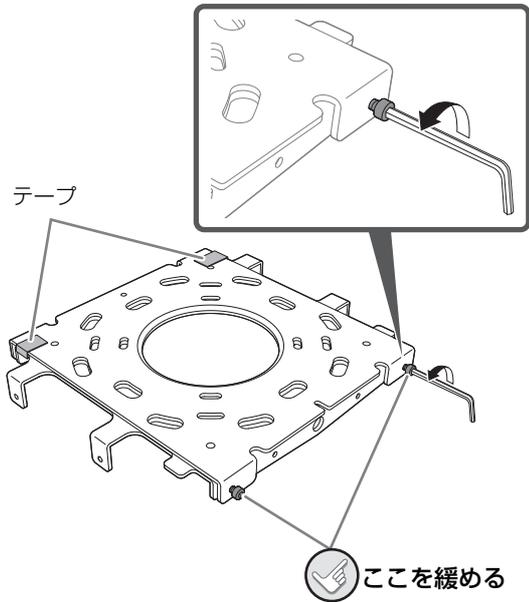
天井取付金具A

天井取付金具B

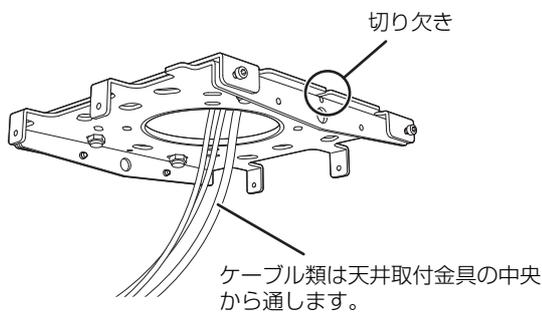
ボールポイントレンチ

操作

- ① 「天井設置面寸法図」を参照して、天井にボルトの取付け穴を開けます。
天井の材質や構造により、天井取付金具の穴を選択して使用してください。



- ② 天井取付金具Aと天井取付金具Bを固定しているテープをはがし、固定しているネジをボールポイントレンチで外れない程度に緩めます。



- ③ 天井取付金具A、天井取付金具Bを天井に取り付けます。切り欠きをスクリーン側に向けます。ケーブル類は天井取付金具の中央を通します。
 ※ 以下の型番のプロジェクターを設置する場合、スクリーンの反対側に切り欠きを向けてください。
 - EH-LS800W
 - EH-LS800B

注意

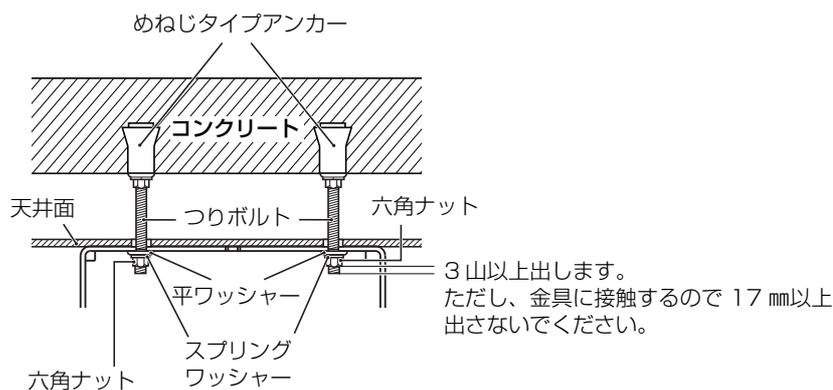
天井取付金具でケーブル類を挟みこまないように注意してください。

■ 取り付け例 [取り付け部がコンクリートのとき]

コンクリート面に取り付けるためにはアンカーボルトを4本使用します。アンカーボルトは市販品をお求めください。

警告

- 取り付け部分のコンクリートが本製品とプロジェクターの質量、および横ゆれに十分耐えられることを事前に確認してください。コンクリートがもろいときや経時劣化しているときは鉄筋などで確実に補強を行ってください。
- アンカーは資材メーカーが指定する基準や方法に従って、抜けや緩み、位置ずれが生じないように確実に施工してください。
- 取り付け時や角度調整終了後は、ネジを確実に締めてください。ネジを締め付けた後、増し締めをしてネジの緩みがないことを十分確認してください。
- 取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。



3山以上出します。ただし、金具に接触するので17mm以上出さないでください。

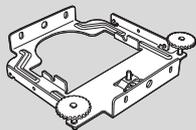
天井取付金具Cを天井取付金具Bに取り付ける



警告

ネジは確実に締めてください。
ネジを締め付けた後、増し締めをしてネジの緩みがないことを十分確認してください。

この作業に必要なもの



□ 天井取付金具C



□ M8×10 mmネジ

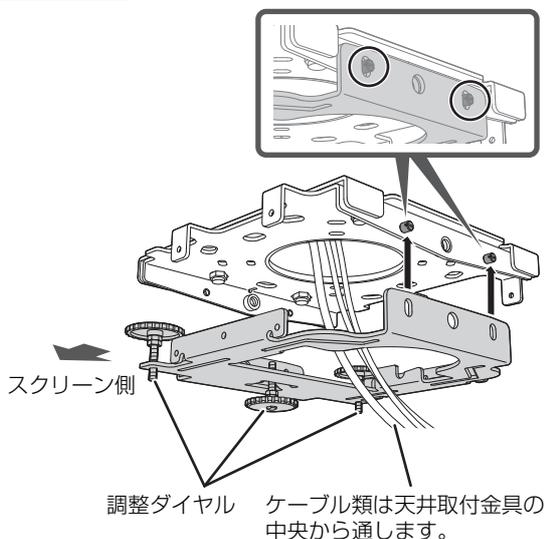


□ M4×10 mmネジ
(ワッシャー付き)

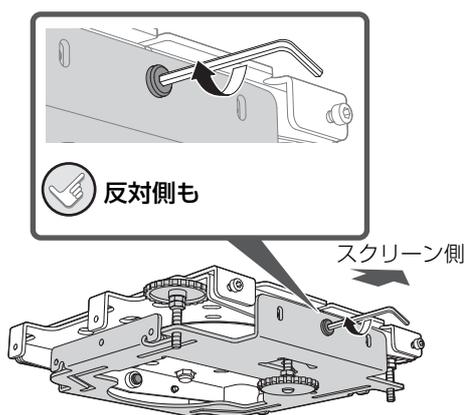


□ ボールポイントレンチ

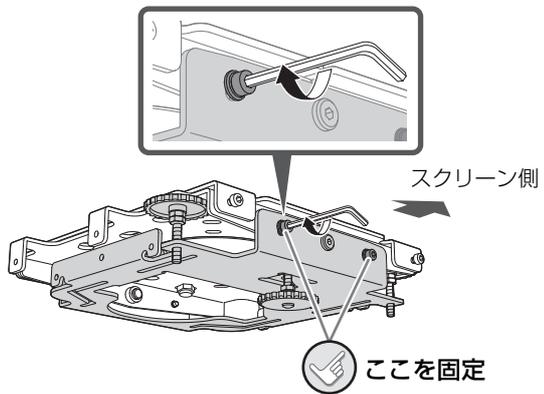
操作



- ① 天井取付金具Bの背面側のネジに、天井取付金具Cのネジ穴を引っ掛けます。
調整ダイヤルが付いているほうをスクリーン側に向けます。
※ 以下の型番のプロジェクターを設置する場合、スクリーンの反対側に調整ダイヤルを向けてください。
- EH-LS800W
- EH-LS800B



- ② M8×10 mmネジを天井取付金具Cのネジ穴に差込み、ボールポイントレンチで締めて固定します。



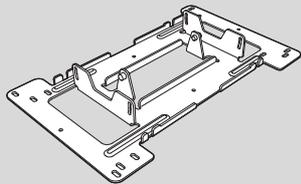
- ③ M4×10 mmネジを天井取付金具②のスクリーン側のネジ穴に差込み、ボールポイントレンチで締めて固定します。
- ※ 以下の型番のプロジェクターを取り付ける場合、ネジ穴はスクリーンの反対側の位置にあります。
- EH-LS800W
 - EH-LS800B

プロジェクター取付金具をプロジェクターに取り付ける

⚠ 警告

- ネジは確実に締めてください。
ネジを締め付けた後、増し締めをしてネジの緩みがないことを十分確認してください。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジ緩み止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や本製品の調整に際しては、ネジ緩み止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

この作業に必要なもの



□ プロジェクター取付金具

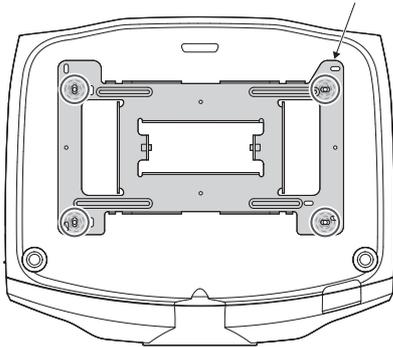


□ M4×12 mmネジ
(ナベ、ワッシャー付き)

その他、市販のプラスドライバーをご用意ください。

操作

この部分がプロジェクター背面側になるように取り付けます。*

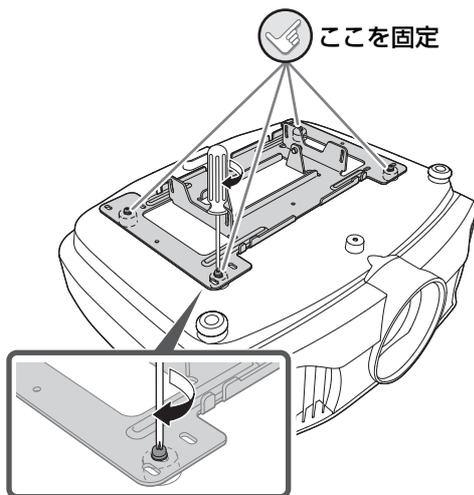


- ① プロジェクター取付金具を図のような向きでプロジェクターに載せ、プロジェクターの天吊り用ネジ穴の位置に合わせます。
※ EH-R4000/R1000に取り付ける場合は、プロジェクター取付金具の前後の向きがイラストと逆になります。

注意

ご使用のプロジェクターにより、プロジェクター取付金具を取り付けるネジ穴が異なります。詳細はプロジェクターに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

✓ ここを固定



- ② M4×12 mmネジをネジ穴に差込み、市販のプラスドライバーで締め固定します。

注意

プロジェクターとプロジェクター取付金具を固定する際は、必ず同梱のM4×12 mmネジを使用してください。

プロジェクター取付金具を天井取付金具Cに取り付ける



警告

取り付けが終了するまではプロジェクターから手を離さないでください。

この作業に必要なもの

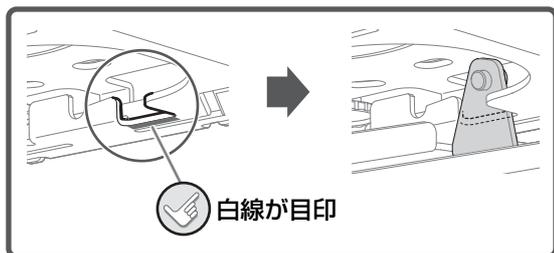


□ M4×10 mmネジ
(ワッシャー付き)

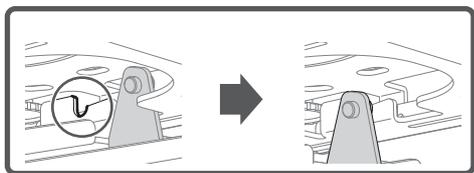
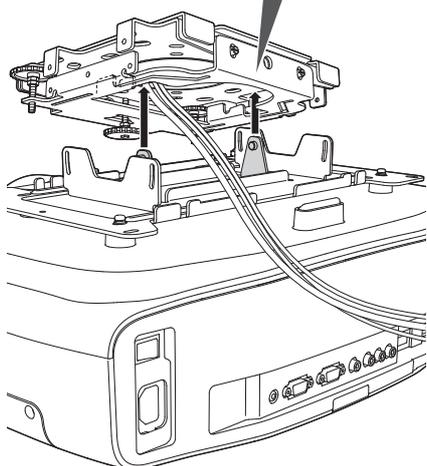


□ ボールポイントレンチ

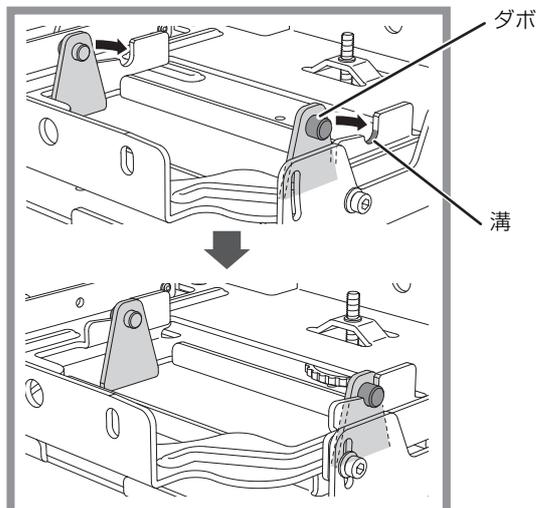
操作

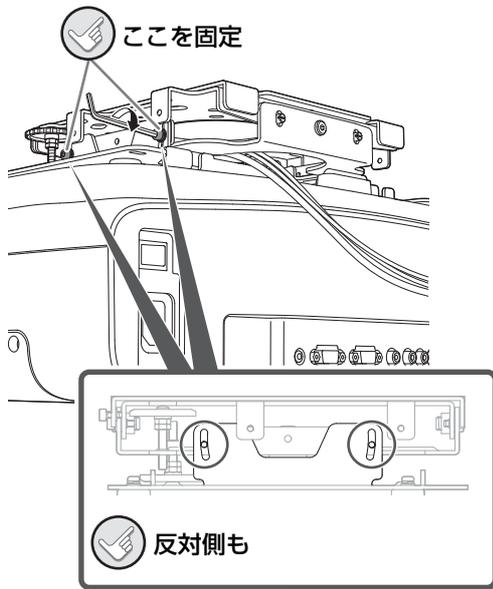


- ① 天井取付金具Cの切り欠きからプロジェクター取付金具を通します。



- ② プロジェクター取付金具をスライドさせ、天井取付金具Cの溝にプロジェクター取付金具のダボを引っ掛けます。





- ③ M4×10 mmネジをプロジェクター取付金具のネジ穴に差込み、ボールポイントレンチで締めて固定します。あとで角度を調整するので、ここでネジをきつく締める必要はありません。



警告

ケーブル類を強い力で引っ張らないでください。

プロジェクターの角度を調整するときは、次項の「投写映像の位置を調整する」をご覧になり角度調整を行ってください。

投写映像の位置を調整する

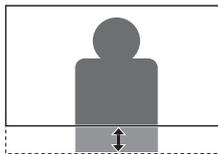
投写映像がスクリーンに対してずれている場合は、次の方法で調整します。

● レンズシフトで調整する（レンズシフト対応プロジェクターのみ）

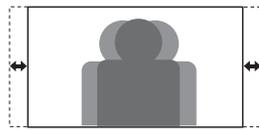
レンズシフトを使って投写映像の位置を調整します。操作方法などはプロジェクターに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

● 設置角度を調整する

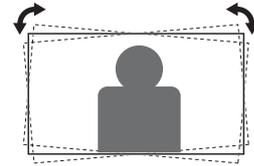
プロジェクターを傾ける、もしくは回転させて投写映像の位置を調整します。下記の範囲で調整できます。



上下の調整：0 ~ -8°
(● p.14)



左右の調整：-3 ~ +3°
(● p.16)



左右の傾きの調整：-2.5 ~ +2.5°
(● p.17)

プロジェクターを傾けると投写映像が台形にゆがむことがあります。台形にゆがんだ映像は、台形補正で補正できます。ただし、傾斜角度が大きくなるとピントが合いにくくなります。操作方法などはプロジェクターに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

この作業に必要なもの



□ ボールポイントレンヂ

投写映像を上下反転させるときは、プロジェクターの環境設定メニューで行います。
[設定] (または [拡張設定]) - [設置モード]

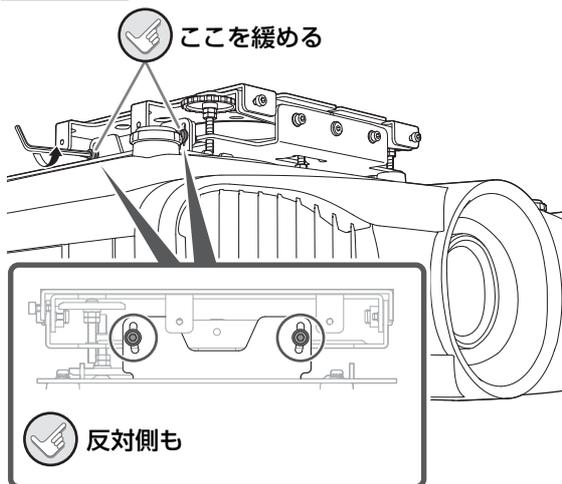
ただし、お使いのプロジェクターにより設定方法が異なる場合があります。詳しくは、プロジェクターに添付の取扱説明書類をご覧ください。

投写映像を上下に移動する

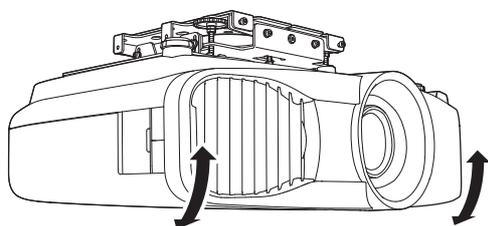
⚠ 警告

- 取り付けが終了するまではプロジェクターから手を離さないでください。
- 角度調整時に不用意にネジを緩めたり取り外さないでください。
プロジェクターが落下して事故の原因となります。
- 金具調整時に金具やプロジェクターに無理な力を掛けないでください。
金具やプロジェクターが破損して落下し、事故の原因となります。
- 調整が終了したら、すべてのネジを再度締めて緩みがないことを確認してください。

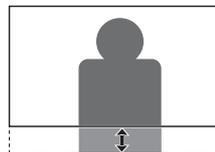
操作



- ① ネジが締まっているときは、ボールポイントレンチでネジ 4 本を軽く緩めます。

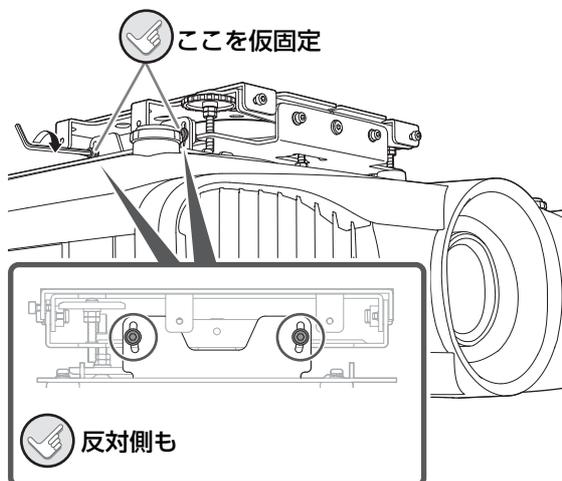


- ② プロジェクターを手動で上下に動かし、おおよその位置を合わせます。

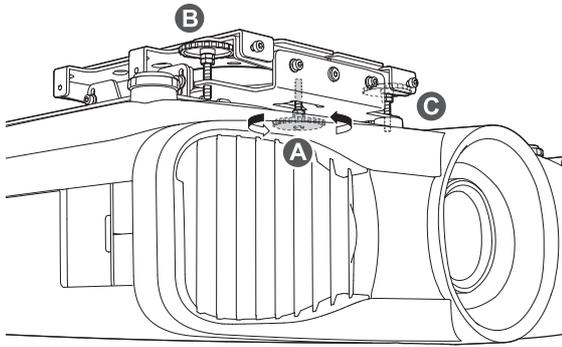


下方向に微調整できる（手順 ④）ので、ここでは、やや上側に合わせておくと調整しやすくなります。

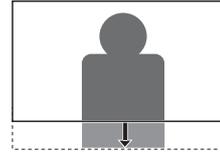
金具を仮固定するまで、調整した角度でプロジェクターを支えたままにしてください。



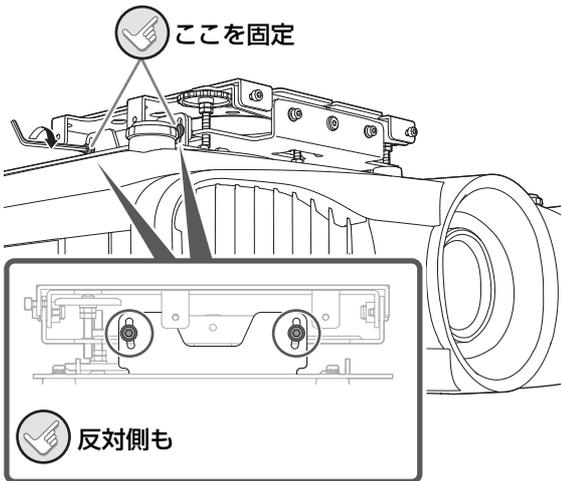
- ③ プロジェクターを支えたまま、ボールポイントレンチでネジ 4 本を締めて仮固定します。
このときネジをきつく締めすぎないでください。



- ④ 調整ダイヤル **A** を回して投写映像を下に移動させながら角度を調整します。



下に移動させすぎたときは、手順 ⑦ からやり直します。



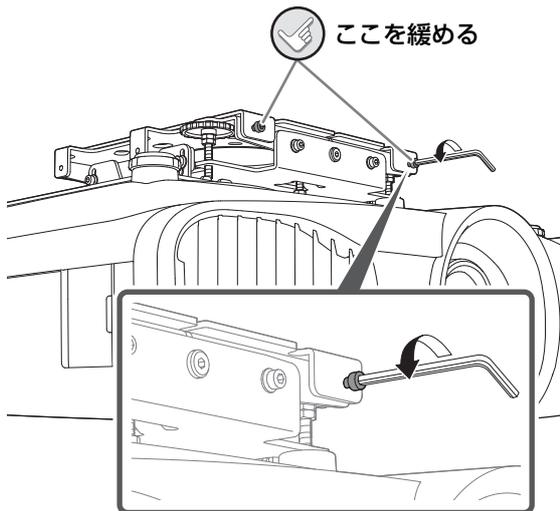
- ⑤ 角度を調整したら、ボールポイントレンチでネジ 4 本をしっかり締めて固定します。

投写映像を左右に移動する

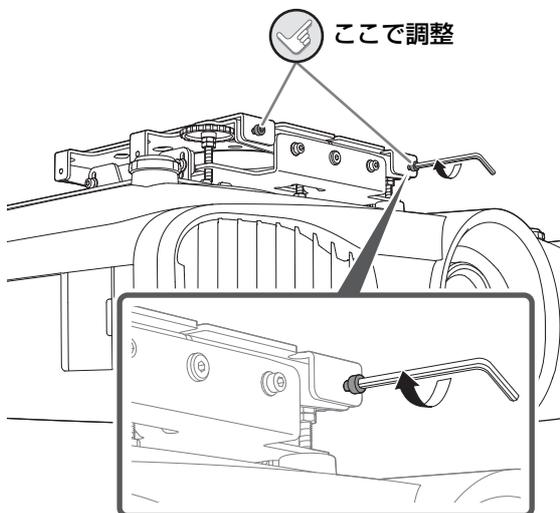
⚠ 警告

- 取り付けが終了するまではプロジェクターから手を離さないでください。
- 角度調整時に不用意にネジを緩めたり取り外さないでください。
プロジェクターが落下して事故の原因となります。
- 金具調整時に金具やプロジェクターに無理な力を掛けないでください。
金具やプロジェクターが破損して落下し、事故の原因となります。
- 調整が終了したら、すべてのネジを再度締めて緩みがないことを確認してください。

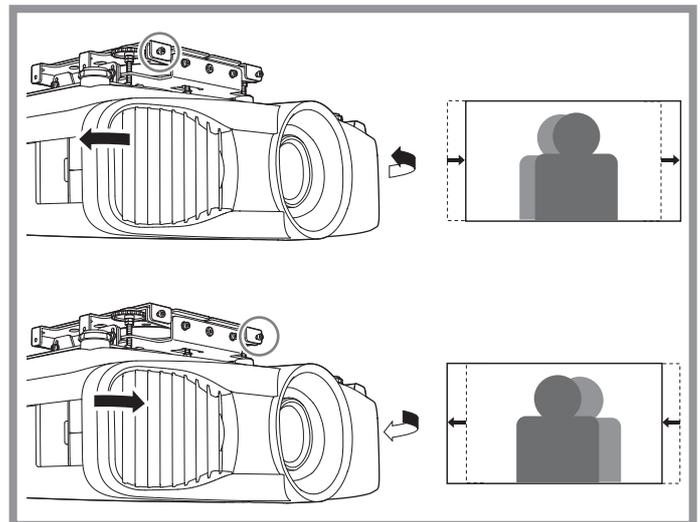
操作



- ① ネジが締まっているときは、ボールポイントレンチでネジ2本を緩めます。



- ② ボールポイントレンチでネジを締めながら位置の微調整をします。

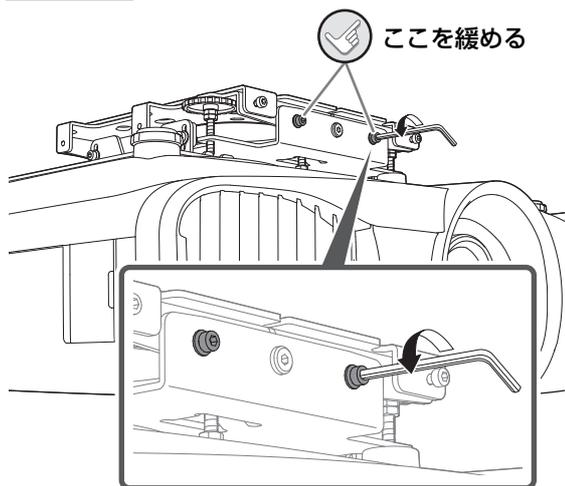


投写映像の左右の傾きを調整する

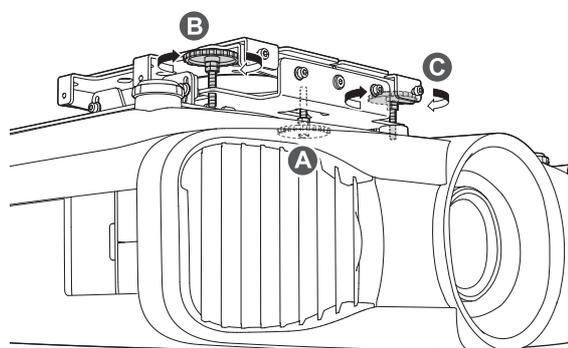
警告

- 取り付けが終了するまではプロジェクターから手を離さないでください。
- 角度調整時に不用意にネジを緩めたり取り外さないでください。
プロジェクターが落下して事故の原因となります。
- 金具調整時に金具やプロジェクターに無理な力を掛けしないでください。
金具やプロジェクターが破損して落下し、事故の原因となります。
- 調整が終了したら、すべてのネジを再度締めて緩みがないことを確認してください。

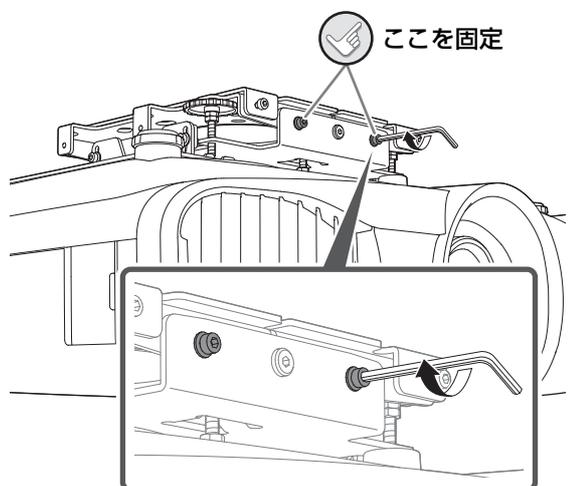
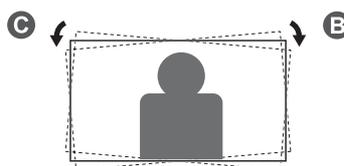
操作



- ① ネジが締まっているときは、ボールポイントレンチでネジ2本を軽く緩めます。



- ② 調整ダイヤル B、調整ダイヤル C を回して角度を調整します。
調整ダイヤル B：投写映像の右側が下がります。
調整ダイヤル C：投写映像の左側が下がります。

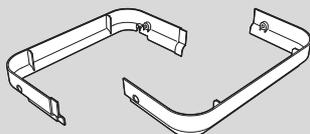


- ③ 角度を調整したら、ボールポイントレンチでネジ2本をしっかり締めて固定します。

取付金具カバーを取り付ける

設置角度の調整後、取り付けたプロジェクターや天井の色に合わせ、必要に応じてカバーを取り付けます。

この作業に必要なもの



□ 取付金具カバー



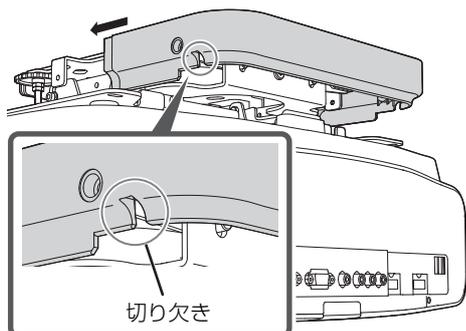
× 4

□ M4×10 mmネジ
(ワッシャーなし)

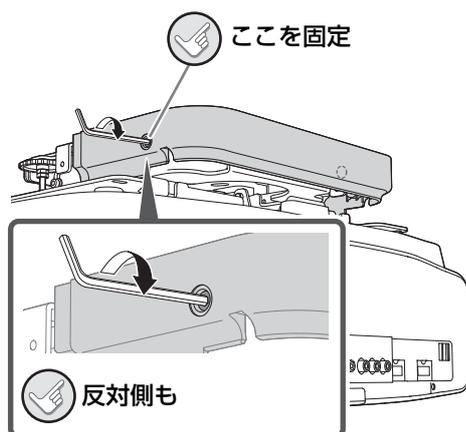


□ ボールポイントレンチ

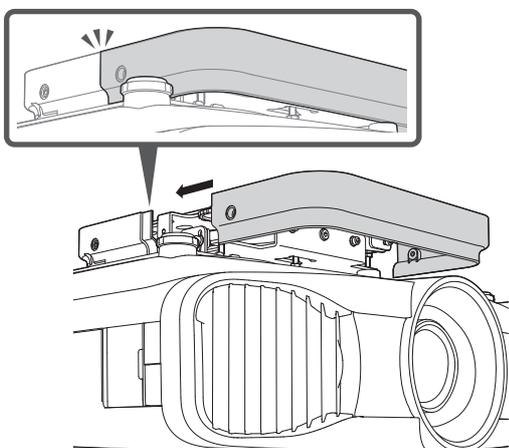
操作



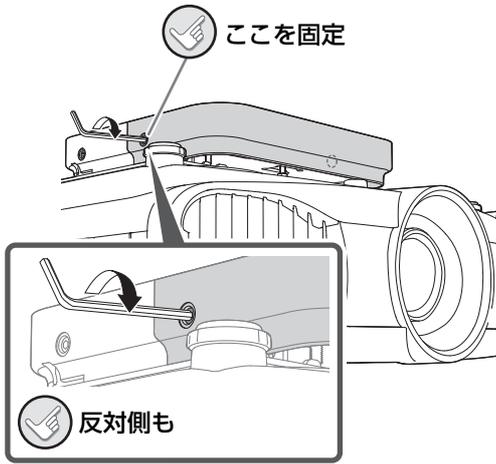
- ① 背面側に取付金具カバーを差込みます。
切り欠きのあるものを背面側に取り付けます。
※ 以下の型番のプロジェクターを取り付ける場合、スクリーン側から取付金具カバーを差し込みます。
- EH-LS800W
- EH-LS800B



- ② M4×10 mmネジを取付金具カバーのネジ穴に差込み、ボールポイントレンチで締めて固定します。



- ③ 背面側の取付金具カバーにぴったり重なるように、スクリーン側の取付金具カバーを差込みます。



- ④ M4×10 mmネジを取付金具カバーのネジ穴に差込み、ボールポイントレンチで締めて固定します。

注意

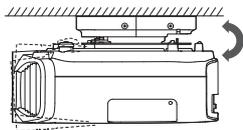
プロジェクターのメンテナンスや修理などでのプロジェクターの取り外し、取り付け、調整は、必ず天吊り設置工事の十分な技術、技能を有する専門業者が行ってください。なお、プロジェクターのメンテナンスおよび修理については、プロジェクターに添付の『取扱説明書』を参照してください。

お問い合わせ先

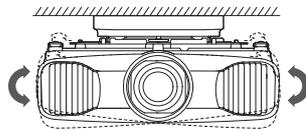
ご不明な点等がありましたら、プロジェクターに同梱の『取扱説明書』に記載されている問い合わせ先にご連絡ください。

仕様

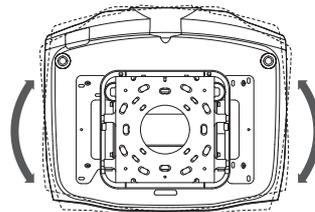
組み立て外形サイズ	幅 342x 高さ 55x 奥行き 230mm (取付金具カバー含む)	
質量	約 3.5kg (取付金具カバー含む)	
調整範囲	上下傾斜角度	0 ~ -8°
	左右傾斜角度	0 ~ ±2.5°
	左右回転角度	0 ~ ±3°



上下傾斜角度



左右傾斜角度



左右回転角度